

第45回

昭和池田賞

応 募 要 項



公益財団法人
昭和池田記念財団

〒142-0041 東京都品川区戸越 5-17-14

☎ 03-3785-1149 FAX 03-3785-1273



●主催／公益財団法人昭和池田記念財団●

●後援／文部科学省●

公益財団法人 昭和池田記念財団	
理事長	池田 彰 孝 SMK(株) 最高顧問
常務理事	原 眞 理 (公財) 昭和池田記念財団 事務局長
理事	加藤 諦 三 早稲田大学 名誉教授
理事	河野 洋 平 元衆議院議長
理事	池田 靖 光 SMK(株) 代表取締役社長
理事	中村 利 雄 (公財) 全国中小企業振興機関協会 会長
理事	御手洗 美智子 ガウチャー大学 理事
理事	森 澤 恭 子 品川区長
理事	中村 哲 也 元 SMK(株) 常勤監査役 監査役会議長
監事	棚橋 祐 治 シティユーワ法律事務所 弁護士
監事	志茂坂 康 史 志茂坂康史会計事務所 公認会計士・税理士

<https://www.showaikedakinen-zaidan.or.jp>

「昭和池田賞」募集の趣旨

公益財団法人 昭和池田記念財団は、SMK株式会社の創業者 池田平四郎と、始寿子夫人(いずれも故人)によって、青年の育英と社会福祉のために、私財を投じて1976年に設立された財団です。

学生論文・昭和池田賞は、当財団の設立5周年を機に、学生の育英の一環として制定されました。

学生の皆さんがそれぞれの分野で学問を究め、より広い視野に立ち、磨かれた英知をもって、明日の日本、明日の世界に貢献される願いがこめられています。

「昭和池田賞」が、賞とともに入選者に奨学金を付与しているのは、そういう趣旨によるものです。一人でも多くの学生の皆さんが応募されることを期待しております。



創設者（初代理事長） 池田 平四郎

表紙のことば

「青年たちが、社会に立ちただかる雷や風雨にめげず、大樹のように、すくすくと逞しく育って、雲を突き破り、枝葉を伸ばしてほしいという願いがこもっています。繁栄が期待される、希望の21世紀です。」

作：故横山隆一（マンガ家）

応募規定

課題

戦後80年という節目の年に国政選挙でナショナリズムを強調する政党が台頭したことは、日本のグローバルな立ち位置という意味でも、日本国内での多様性や共生という意味でも、象徴的な出来事であると言えます。社会全体として余裕がなくなり、格差が広がるなかで、日本国そして日本人として何を優先していくのかの選択を迫られているのがまさに今であり、将来的にどのような国造りをしていくかの岐路に立たされているのではないのでしょうか。

私たちは、これからの日本を担う存在であるという自覚を持って、一人ひとりが主体的に考え、立ち向かって行かなければなりません。不満や課題は山積しています。この困難な時局に、私たちは社会やその未来をどう捉え、対応していくとよいのでしょうか。

昭和池田記念財団では、学生の皆さんの柔軟な発想による考えを募ります。自分の目で確かめ、自分の足で情報を収集し、自分の考えを示す、力強い論文、特に、実体験や独自の調査・実験に基づいて自身の考えを発展させた、オリジナルで力強い論文を歓迎します。

下記のテーマ群のなかから掘り下げたい主題を一つ選び、副題をつけて提出してください。

- 1 戦後世代の歴史認識と課題
- 2 日本国憲法を考える
- 3 日本の伝統文化を考える
- 4 日本の針路、この考えはどうだ！
 - 4-1 グローバル社会の展望と日本の立ち位置
 - 4-2 トランプ時代(ポピュリズム)への日本の戦略
 - 4-3 科学技術立国としての日本
 - 4-4 日本社会における外国人との共生(旅行者・労働者・近隣住民等)
 - 4-5 日本の社会的課題と克服
 - 4-6 その他

作品の形式

論文

※参考資料として動画、音声、アプリ等を、別途ネット上にファイルとして置き、そのURLを論文で指示することは可

賞

昭和池田賞 1名

賞金100万円と当財団規定の奨学金(給付型)

優秀賞 若干名

賞金30万円と当財団規定の奨学金(給付型)

特別賞 若干名

努力賞

適格の応募者全員に記念品を贈呈します

応募資格

短期大学、大学、大学院に在籍する学生

※短期大学士・学士・修士・博士を修得する学部・学科・専攻等に
正規に在籍している学生に限る

論文の形式

本文6,000字以上、12,000字以内(必要に応じ付表・図を付す)。

A4判用紙の縦置き、横書き、マイクロソフトワードの使用を推奨(35
文字×40行、11ポイントを目安、ページ番号記入)。

表紙、目次、梗概(800字以内)を添付。

引用文献・参考資料一覧表の添付は必須事項ですが、本文以外は文
字数に含みません。論文は日本語に限りませんが、原文が英語、中国
語の場合は日本語にそれを添付して補う事は可。

※文字数はカウントする事。図表は拡大するなどして読みやすくする事。

提出物

以下の構成で提出してください

- ①応募申込用紙(募集要項HPよりプリントアウトし必要事項を記入)
- ②表紙(課題と副題、学校名学部学科専攻等、学年、年齢、氏名を
記載)
- ③目次
- ④梗概(800字以内)
- ⑤論文

※応募申込用紙がプリントアウトできな
い場合は事務局までご連絡ください



募集要項HP

注意事項

- ①提出書類の所要事項の記載が欠落していると失格になります。
- ②匿名は受付けません。

③応募作品は未発表作品に限ります。他のコンテストに応募中の場
合は注記してください。なお、自身の研究(レポート、卒業論文、
修士論文など)を元にする場合、本論文応募のためのオリジナルな
論述が、最低でも半分以上となるようにしてください。またその
場合には、元となる研究を参考資料一覧に明示するとともに、応
募作品との関係を注記等で説明してください。

④応募作品の公表や二次的使用の権利は、弊財団に帰属します。

⑤応募作品は返却いたしません。審査内容のお問い合わせには応じ
かねます。

⑥引用資料・参考文献等は注釈をつけ、一覧表にまとめ出所を明ら
かにしてください。

⑦入賞論文(優秀賞以上)は当財団発行物およびHPに掲載いたします。

⑧入賞者の学校名・学部・学年・氏名は公表いたします(相談可)。

⑨個人情報保護の関係上、記入された内容は本目的以外に用いるこ
とはありません。

生成AIの使用について

論文は自身の体験や思考を自らの言葉で表現することが大原則
です。ChatGPTなどの生成AIを、論文執筆において利用する際
には、危険性(個人情報や機密情報の流失、著作権侵害や剽窃
など)に留意し、自己の責任と学術的誠実性を持って利用してく
ださい。生成AIの利用は補完的な手段とし、透明性を重視して、
自身の学術的成果と結び付けることが重要です。論文執筆に際
して、生成AIを利用した場合には、何をどのように利用し、論
文のどの部分にいかに反映しているかの情報を明確に注記し、
AIの生成過程や結果の妥当性について説明責任を果たすように
してください。

応募方法

応募規程に従い、2025年10月(募集受付開始)より、2026年1月31日(土)
(締め切り)までに、作品(提出物①～⑤)を下記へ郵送してください。
(締め切り当日消印有効) ※郵送料はご負担ください

提出先

〒142-0041 東京都品川区戸越5-17-14
公益財団法人 昭和池田記念財団 「昭和池田賞」係

日程

- 募集開始 2025年10月
- 締め切り 2026年1月31日(土) 当日消印有効
- 入賞発表 2026年5月中旬
当財団ホームページにて発表予定
※入賞者のみ直接通知します
※努力賞は記念品の発送をもってかえさせていただきます
- 贈賞式 2026年6月開催予定

審査委員

木村忠正	立教大学 教授
中村利雄	(公財) 全国中小企業振興機関協会 会長
石川薫	元カナダ大使
小松弥生	(独) 国立美術館 東京国立近代美術館 館長
池田靖光	SMK(株) 代表取締役社長

論文コーディネーター

大川内直子 (株)アイデアファンド 代表取締役 CEO

(敬称略)

最近の受賞者とテーマ

第44回受賞者 (大学・学年・年齢は応募時点)

昭和池田賞

辻川 凛氏(慶應義塾大学 法学部法律学科4年)

テーマ 日本の針路、この考えはどうだ！
日本の社会的課題と克服
『高齢犯罪者の増加と再犯問題を考えるー犯罪者処遇への提言』

優秀賞

釜田 陽光氏(京都大学大学院 農学研究科修士課程1年)

テーマ 日本の針路、この考えはどうだ！
科学技術立国としての日本
『他国にエネルギーを依存しないために。植物を用いた日本型バイオリファインリーの構築に向けて日本が進むべき方向性を提案する』

優秀賞

佐々木 藍氏(滋賀医科大学 医学部医学科3年)

テーマ 日本の針路、この考えはどうだ！
日本の社会的課題と克服
『ホスピス・緩和ケア医療施設と「地域の居場所」の複合施設を基地としたコンパッション・コミュニティづくり～病院の患者図書室ボランティア活動を通して～』

特別奨励賞

井下 敬翔氏(滋賀大学大学院 データサイエンス研究科博士前期2年)

テーマ 日本の針路、この考えはどうだ！
科学技術立国としての日本
『大規模言語モデルの政治的影響とガバナンスの指針』

特別奨励賞

與那覇 優棋氏(慶應義塾大学 商学部商学科4年)

テーマ 日本の針路、この考えはどうだ！
日本社会における外国人との共生(旅行者・労働者・近隣住民等)
『外国人はイノベーションを促進させるか?』

奨励賞

小松 桃子氏(上智大学 外国語学部2年)

『加害の歴史と平和社会への道筋』

西島 美穂氏(国際基督教大学 教養学部2年)

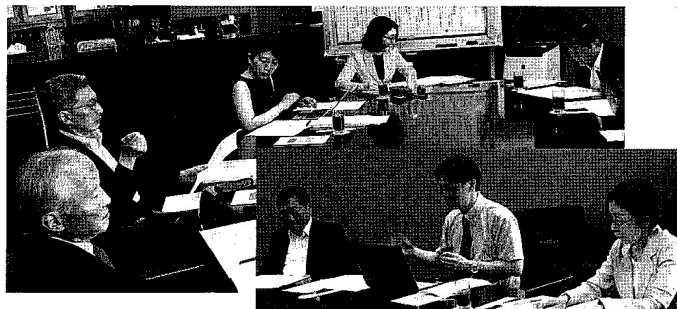
『伝統芸能のインバウンド事業活用による文化継承と新たな価値創造』

寺山 隼矢氏(東北大学大学院 工学研究科博士後期3年)

『産学官改革が導く介護ロボット革新と社会変革』



第44回贈賞式(2025.9.12)



審査風景 (2025.6.17)